

経営比較分析表（令和5年度決算）

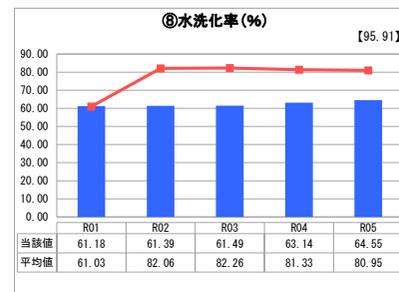
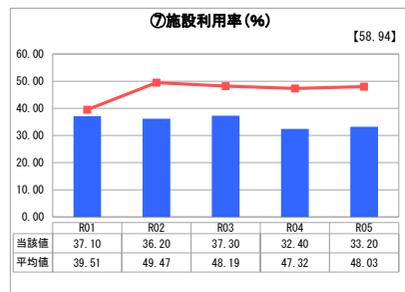
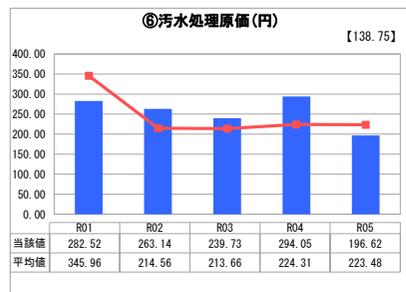
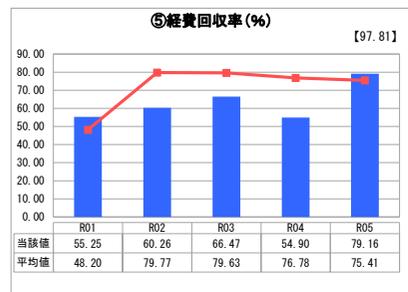
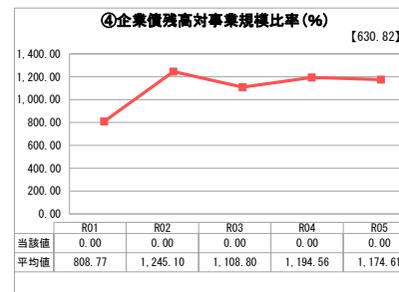
栃木県 那珂川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	10.05	82.91	2,824

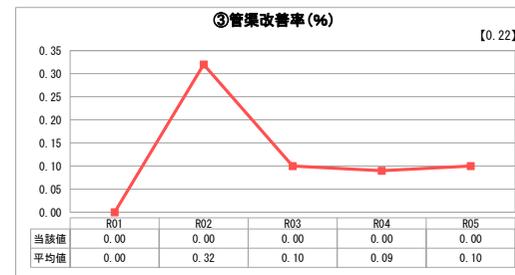
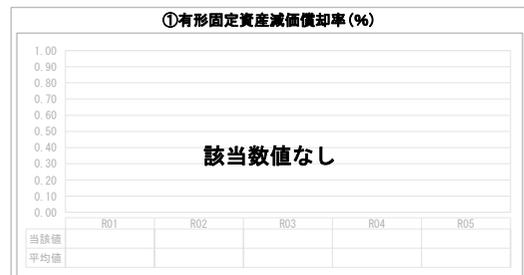
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
14,560	192.78	75.53
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
1,447	1.05	1,378.10

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度決算は、令和6年4月から地方公営企業会計へ移行したため、3月31日で打切り決算とし、維持管理業務委託料の一部は未払金として企業会計へ移行している。

①収益的比率は100%を超えているが、打切り決算としたためである。依然として一般会計繰入金に依存している状況であり、使用料の改定を検討していく必要がある。

⑤経費回収率は平均値を上回っているが、打切り決算としたためであり、使用料の改定を検討していく必要がある。

⑥汚水処理原価は平均値を下回っているが、打切り決算をしたためであり、維持管理費の削減や接続率の向上など経営改善が必要である。

⑦施設利用率は平均値を下回っており、今後も人口減少が予想されることから、適切な施設規模を検討していく必要がある。

⑧水洗化率は100%を下回っており、維持管理費等の財源確保のためにも、水洗化率の向上を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始が平成18年3月であるため、定期点検等の結果を踏まえると比較的良好な状態ではあるが、施設の老朽化に向けて、施設の点検・調査を定期的に行い、計画的な対策を講じる必要がある。

全体総括

令和6年度より地方公営企業会計に移行したことから、独立採算を原則とする経営が求められる中、水洗化率の向上に取り組むとともに、使用料の改定による収入の確保や経費の縮減を図っていく必要がある。

処理区内の面整備は完了しており、新たな投資はないが、老朽化に伴う設備の改築更新については、優先順位により計画的に対策を図っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。